



ユニット特集

デイサービス

七夕イベント



星の
キラキラ
ゼリー

おいしい〜♪



七月七日金曜日 デイサービスでは七夕イベントを開催しました。七夕にちなんだゲームをしたり、七夕のルーツとも言える、織姫、彦星、天の神、ナレーション役の四名で寸劇を行いました。当日の朝に決定したので着物などの衣装もありませんでしたので、シボ感のある丈夫な和紙やシャツなどで衣装を作りました。普段から急にレクリエーションの内容を変更したりと即決対応が求められる事もありますが、職員の連携プレーが重要です。新しい利用者様から「とても良かったよ」と声をかけて頂いてとても嬉しかったです。今後もいろいろなイベント予定がありますので利用者様に楽しんで頂けるように職員一致団結して頑張りたいと思います。

みんなで作るハートケア

『咳エチケット』

施設長 佐藤 幸一



夏本番となりました。暑い日が続き、施設では熱中症予防にご利用者様はじめ職員も水分摂取をこまめに行うよう気を付けています。皆さまも外出時はもちろんですが、自宅においても十分お気を付け下さい。

またさらに気掛かりはコロナウイルス感染者数の推移です。感染症分類の5類移行後も緩やかな増加傾向を続けており、夏には人の動きが多くなり、感染が拡大するとの予想もあります。

最近ではマスクの着用率も下がり、街中でも、電車の中でもマスクをしない姿を多く目にするようになりました。マスク着用については個人の判断に委ねられていますので、この傾向は当然だと思います。ただ電車の中などある程度密閉された空間で、マスクなしで、ハンカチなどで口を覆うこともなく、平気で咳をしている人を見かけますと、とても複雑な気持ちになります。もともと「咳エチケット」という言葉もあります。コロナウイルスに限らず、通常の風邪ウイルスを広げる可能性もありますので、マスクは外しても、他者への配慮、思いやりはなくさないようにしたいものです。

やはり手洗いや換気、マスクの効果的な場面での着用など、基本的な感染対策は継続し、感染拡大を防止する意識はまだまだなくさないで欲しいと願っています。

その一方、コロナとの共存を考えなければならぬこともわかります。特養に入所後、ご入居者様のお部屋を直接見たことがないご家族がいるという状況をいつまでも続けるわけにはいきません。現在は会議室でパーテーション越しの面会を実施していますが、少しずつ居室での面会の機会を作っていきたいと思っております。

世の中の動きに比べれば対応が遅いかもしれませんが、私たちにとっては大きな一歩となります。高齢者施設でのコロナ対応はまだまだ模索が続きますが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

避難訓練を実施しました



それ〜!



和合では、火災時の避難訓練を実施しました。デイの利用者様には、実際に消火器の訓練をさせていただきました。「火事だ〜! 消火〜!」と声を出されて、無事に行うことが出来ました。ありがとうございました。



もみじ星に願いを



六月の日に中に入居者様と七夕製作レクリエーションを行いました。短冊を用意し、お願い事を書いて下さいと伝えるも、字を書くことが少し嫌なご様子で、名前だけ書いて下さる方が多かったです。願い事は「本人の希望もあれば、伝えることが難しい方には、職員がこの方はこうなってくればいいなとそれぞれ考え、健康や食、旅行に関する事、入院されていらっしやる方には、早く退院できますようにと願い事を代筆しました。折り紙の飾り作りには、輪っかをメインに製作していただきました。最初は、「あまり得意じゃないのよね。」と仰りながらも、作りだすと集中され、時間も忘れ取り組まれていたのが印象的でした。また、最初はやらないと仰っていた方も、様子を見てみると、「こうするんだよ。」と自ら手伝って下さるようになり、あっという間に完成しました。



健康が一番

にっこり♡

りんどろう



七夕飾り作り

六月二十八日に七夕飾り作りをしました。思い思いに織姫や彦星の顔を描き一人一人違う表情の七夕の主役を仕上げてくださいました。絵は描いている方の心情が表れるそうですよと職員がお話すると、「え〜そうなの？」と笑顔が見られたりと終始楽しそうにされていました。お願い事を書く際には、『百歳まで生きたい』や『お母さんに幸せに過ごして欲しいな』と願う方もいました。願い事を心に思い浮かべながら素敵な七夕の日をりんどろうの皆様と過ごすことができました。お願い事が一人一人叶うことを願って暑さを乗り切っていきましょう。



叶うといいな!

うまくできました☆

叶いますように~!

いちよう

短冊に願いをこめて



いちようでは、七夕の行事で笹飾り作りを行って、短冊に皆様の願い事を書いて頂きました。カラフルな短冊からお好きな色を選んで頂くと「うーん？どれがいいかな？迷っちゃうよ。」と嬉しそうに微笑んでいました。そして、それぞれの選んで頂いた短冊に願い事を真剣に書いていました。「お星様お願い、世界みんな幸せでありますように。」と書いている方がいらっしやり、「自身のことではなく、広い世界の平和を願う心の広さに感動しました。私達職員も、入居者皆様のご健康と幸せをお願いして、これからも楽しみと喜び明日への希望があるユニットに出来るように心がけていきます。」



お誕生日おめでとう



介護の現場から

もくれん

七夕に願いを



六月上旬に梅雨入りし雨の日は増え、太陽の日差しが恋しくなること一カ月、強い日差しで洗濯物もカラッと渇き気持ちが良い！と同時にやはりこの暑さが身体に伝えます。さて七月になりました。七月といえばやはり七夕、七夕の日は、夜少し雨が降っていましたね。雨が降っていたら織姫と彦星は会えないと思っていました。調べてみると少しでも雨が降れば二人は会えないと伝えるところもあれば、雨でも二人は出会えて、雨は織姫のうれし涙で雨の水でけがれが洗われるなどとするところもあるそうです。

もくれんでは入居者様の皆様に短冊を書いて頂いたり、飾り付けのつづり飾り、三角つづりを作って頂きました。当日のおやつは星のキラキラゼリーが出て皆様は美味しいと笑顔で話されていました。



こすもす 短冊に願いを込めて

六月のある日の午後。「笹の葉さらさら」と、音楽が流れレクリエーションの始まりです。笹の木を見て「大きいのね。」「あ、七夕なのね。」と、皆様口々に穏やかな笑顔で話をされていました。女性が多いユニットなので一度お喋りが始まると大賑わいになり、楽しい空気が流れ出しました。まずは、お一人一枚ずつ短冊を渡し、願い事を書くお願いをしました。ここから「何て書く？漢字は合ってる？名前書くの？」と笑い声が響き渡りました。やはり皆様健康に関する願い事が沢山ありました。『長生きできますように』『家族が元気でありますように』『美味しいものが食べたい』『皆さんの名前を覚えてたくさん話が出来ますように』『職員も楽しくお手伝いをさせて頂き、最後に飾り付けと一緒にご自分の短冊を笹の木に飾り、笑顔いっぱい七夕飾りと短冊書きの会は終了しました。季節を感じ、楽しい時間を過ごされました。』



なでしこ 短冊に願いを☆

六月二十四日、なでしこでは七夕に向けて皆様に願い事を書いて頂きました。皆様、「何をお願いしようかな。」と悩まれながらも、笑顔で短冊に願い事を書いており、とても楽しまれました。

願い事を書いた後は、笹に取り付け、付けた短冊を眺めながら、「願い事が叶いますように。」と話されていました。行事の後には七夕という事で特別なおやつが出て、「かわいい。」「食べるのがもったいない。」等、話されておられました。

短冊に書かれた皆様の願い事がどうか叶います様、職員一同願っております。

願いが叶いますように



星のキラキラゼリー